

第
38
回

夕張川流域会議 樹木伐採予定地を視察しました。

- 日時：令和1年11月6日（水）13：15～
- 場所：夕張川（幌向川合流付近、馬追橋付近）



今回の流域会議では、現地視察と意見交換が行われました。泥炭採取地の視察では、土壌改良等で利用される泥炭が夕張川下流の栗幌橋付近の高水敷で採取されており、今後は高速道路の上流右岸を採取していく予定との説明がありました。高水敷の樹木伐採は、洪水時に安全に河川水が流下できるように行われるもので、高速道路から下流で計画されています。以前伐採した幌向川合流点付近を通り、国道橋の袂で伐採予定地を視察しました。最後に小林酒造側の馬追橋付近で架橋工事の説明がありました。掘削砂利のサケマス産卵地への投入については、

今後も官民が情報交換しながら検討をしていくことになりました。意見交換では、魚類調査の報告、ハサンベツ里山の市民工事お知らせ、上流樹木伐採に対する謝辞等（下段参照）がありました。



視察 1：夕張川下流高水敷



視察 2：馬追橋付近



意見交換

上流の樹木伐採現場をNPOが視察しました。

- 日時：令和1年10月10日（木）13：30～
- 場所：長沼頭首工下流左岸
- 参加者：河川利用者（NPO、教育委員会）



長沼頭首工下流は、川下りやボート体験でよく利用される場所ですが、近年ヤナギなどの樹木が繁茂して使いづらくなっていました。今回、ヤナギの伐採抜根が行われることになり地元のNPO等が伐採現場を視察しました。鬱蒼としていた林がきれいになり、みなさんから驚きの声があがりました。伐採後も河川事務所と利用者が連携して草刈り等を行い維持管理していくことになりました。

雨煙別川にサクラマスが帰ってきました。 ～産卵床調査

- 日時：令和1年9月～10月
- 場所：雨煙別川

今年も雨煙別川でサクラマスの産卵床調査が行われ、産卵床21箇所が確認されました。（9/21.28、10/16の調査）

今年は、個体数も産卵床数も少ないようですが、夏場の渇水や高水温などが影響していると言われています。



産卵床に石を被せる
メスのサクラマス

夕張川クイズ

上の記事に「長沼頭首工下流左岸」という表現がありますが、川の左右は、どうやって決めているのでしょうか？

1. 海に向かって左右を決める。
2. 山に向かって左右を決める。

雨煙別川で清掃活動&生き物しらべ

- 日時：令和1年9月14日（土）9：00～
- 場所：夕張川支川雨煙別川（栗山天満宮付近、公園橋～山の手橋）
- 参加者：栗山青年会議所、流域市民、栗山町役場、河川管理者など

雨煙別川で恒例の河川清掃が行われました。昨年は夕張川合流付近を掃除し、今年は上流の栗山天満宮近くに場所を移しました。清掃活動後、流域生態研究所の指導で生き物しらべも行われ、ウグイ、フクドジョウ、ジュスカケハゼなどの魚を採りました。川にゴミがあると悲しくなります、「川をきれいにしましょう!!」



生き物しらべ



中州で記念撮影



河川の清掃

夕張川の生き物たち キクイモ

夕張川の河川敷では、オオアワダチソウやオオハンゴンソウなどの黄色の花を付けた外来植物がたくさん見られますが、その中でも2mを超える背の高い植物がキクイモです。図鑑を調べると、その特徴は、1)キク科で大型の多年草、2)剛毛があり触るとざらつく、3)地下部に大きな塊茎がつく、とあります。原産は北アメリカで江戸時代末に家畜の飼料として導入されて広がったようです。繁殖力が強く、環境省は要注意外来植物(※)に指定しています。上の写真が茎に付くイモで、皮をむいて生で食べてみると粘りのない長芋のようで淡白な味でした。(サラダに入れるといいらしい!)外来種として要注意される一方で健康食品として栽培している地域もあるそうです。参考文献:「新北海道の花」北海道大学出版会

※要注意外来植物：外来生物法による規制の対象ではないが生態系に悪影響を及ぼすおそれがあるため注意を要するもの



根に付く「イモ」生姜みたいですよ!



河川敷のキクイモ群落
黄色い花が付きます。

川と生活～自然結氷する夕張川



結氷し雪が積もった夕張川

由仁町郷土資料研究会が由仁町の歴史、風土、生活の有り様などを編集した郷土資料「渡し守」には、夕張川の自然結氷についての記事があります。「昭和12年の3月の初めだったと思う。その年も夕張川は結氷して氷の上を一合砂利をつけた馬褌が通ることが出来た。川向からこちらに砂利運びをしていた場所は由仁鉄橋の下である。」(以上、「渡し守」から抜粋)以前、氷橋(すがばし:凍結した川に丸太や枝で骨組みし、その上を氷や雪で固めた橋)の紹介をしましたが、冬季には夕張川が結氷して馬褌も渡ることができたようです。千歳川など冬季でも結氷しない川がありますが、これは湧水があり比較的暖かい河川水が流れているからのようです。

「夕歩道」の紙面の色は、なぜこの色なの?

この紙面の茶色、実は「夕張川の川の色」をイメージしています。茶色く濁っている夕張川ですが水質は悪くなく、コイ科の魚がたくさん棲んでいます。流域には泥岩が多く秋～冬の時期は、澄んだ水が流れていることもあります。



左：濁った夕張川 右：底が見える夕張川

夕張川クイズ答え：「1」夕歩道バックナンバーは、ホームページをご覧ください。「夕張川流域会議」で検索

発行：夕張川流域会議事務局

江別河川事務所：〒067-0074 江別市高砂町5 電話 011-382-2358
夕張川ダム総合管理事務所：〒068-0546 夕張市南部青葉町 573 電話 0123-55-5151



夕歩道バックナンバーは、ホームページをご覧ください。「夕張川流域会議」で検索